

ふれあいネットワーク

平成22年9月1日

大淀町 社協だより

2010
No.4

赤い羽根共同募金が
まもなく始まります！



発行所／社会福祉法人 大淀町社会福祉協議会

〒638-0821 大淀町下湊1223番地 TEL 0747-52-1941

この社協だよりは、共同募金の配分金と善意銀行の助成金により作成しております

地域福祉活動と聞くと自分とは縁の遠いもの、
 そう思っている人は少なくはないだろう。
 しかし、自分のまわりで自然と行われている行事や活動は、
 地域福祉へとつながっている。
 そんな活動のひとつに共同募金がある。

すぐそこにある 地域福祉活動 ～共同募金～

「赤い羽根募金」と聞いてピンとくる方が多いかもしれません。共同募金は、赤い羽根募金の愛称で地域住民による募金活動として、昭和二十二年より全国的に始まりました。

この共同募金は、地域福祉活動の一環として社会福祉法に定められています。

地域福祉活動とは、地域住民や社会福祉関係者がお互いに協力、参加して地域の福祉課題に取り組む考え方ですので、募金をする方や募金を呼び掛けている方は、地域福

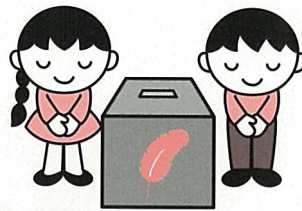
祉活動の協力者や推進者になります。

大淀町でも、毎年十月には各区を通じて多くの方に募金（＝福祉活動）の協力をお願いしています。同時に、街頭（駅・スーパー・道の駅など）でも多くの方が募金に協力してくれています。

こうした募金は、県の共同募金会に集められ、社会福祉協議会（＝社協）へ配分（助成）され、さらに町内の小中学校で行われるボランティア活動や地域のサロン活動の運営助成などに使われています。

また、社協としては、福祉の情報を発信するための「社協だより」の発行やホームページの運営に使用しています。

今年も十月から共同募金活動が展開されます。たくさんの方が、地域福祉活動の担い手として、共同募金にご理解とご協力をお願いします。



※街頭募金の写真

本年も共同募金は10月1日～12月31日まで募金活動は行われます。

募金の流れ

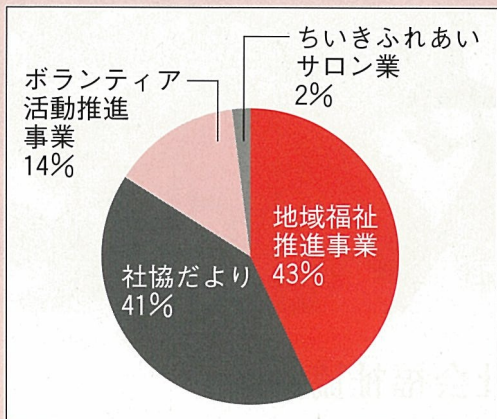
皆さんの募金したお金

大淀町共同募金委員会

奈良県共同募金会

大淀町の地域福祉活動に使われます

大淀町での使い道 (H21年度)





ほづかつ日和

～頼れる地域のサポーター～



今回は、「認知症」についてお伝えします。全国には認知症患者が、約226万人いると言われています。

認知症は脳梗塞などにより脳の血管が詰まったり、加齢によって脳が縮んだりして、脳が傷つき、記憶や判断力などに障害が起こり、社会生活を送

『認知症』どうまでく存じですか？

「物忘れ」と認知症のちがい

他人の名前を度忘れしたり、昼食に食べた物を思い出せなかったり：などのいわゆる「物忘れ」は記憶力や集中力、注意力の低下から起こります。「物忘れ」は、病気ではなく単なる脳の老化が原因となっています。

「認知症」では人の名前どころか、その人の存在さえも分からなくなってしまうことがあります。お昼に食べた物や、食べた事さえも思い出せなくなってしまうます。

	物 忘 れ	認 知 症
物忘れの範囲	体験の一部を忘れる	体験したことの全部を忘れる
自覚症状	自覚している	自覚が乏しい
日常生活	支障はない	支障をきたす
その他の症状	人の名前が思い出せない、度忘れが目立つなどの記憶障害がみられる	記憶障害に加えて、見当識障害（日時、場所などがわからなくなるなど）、判力の低下がみられる

ることが難しくなりま
す。認知症に最も多いのは「アルツハイマー型認知症」と「脳血管性認知症」です。この2つの混合型もあわせると認知症全体の約8割を占めます。中には原因となる病気を治療することで症状が軽くなることもあります。

認知症の患者はこれからも増加することが予想されます。そんな他人ごとではない「認知症」も日頃から心がけ次第で予防したり、症状を軽くしたりすることができま



●認知症の予防

高血圧や糖尿病などの「生活習慣病」が原因となり認知症になります。「バランスの良い食事」や「適度な運動」、「人と接する機会を持つ」など、日頃から注意しながら生活する事が大切です。慣れた生活を変えることは大変ですが、少しずつ取り組んでいきましょう。

●治療と悪化予防

「認知症かも？」と感じたら、精神科や物忘れ外来などの専門的な病院へ受診することが大切です。

できるだけ早く専門の病院で診察を受けることで、病気の悪化を予防したり軽減したりすることができます。

認知症の方は、物忘れが進んだり、出来ていたことが出来なくなると不安な気持ちが大きくなります。

介護者も困り果てて、ついつい叱りつけてしまいがちになっています。それではご本人の不安

が膨らみ症状が悪化するばかりです。認知症の方の気持ちを理解し、一緒に治療に取り組んでいくことが重要です。



認知症への理解を深めるには、「認知症サポーター養成講座」や「認知症の人と家族の会」が主催する勉強会などがあります。

●地域包括支援センターでは

「家族介護者教室」を開催したり、相談を伺ったりしています。

みなさまの地域で認知症についての勉強会を開催される場合には、地域包括支援センターから出前講座も行ってあります。お気軽にご相談ください。

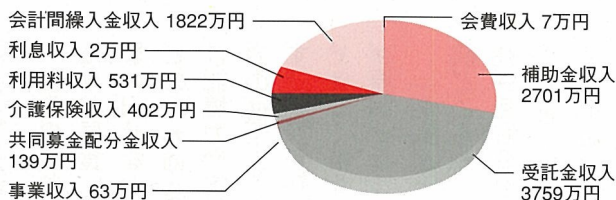
平成21年度 決算報告

平成21年度の一般会計及び介護サービス事業特別会計は、下記のようになっております。

一 般 会 計

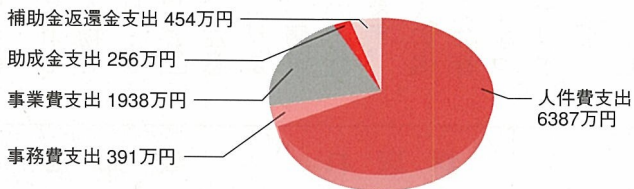
収入の部

会費収入	7万円
補助金収入	2701万円
受託金収入	3759万円
事業収入	63万円
共同募金配分金収入	139万円
介護保険収入	402万円
利用料収入	531万円
利息収入	2万円
会計間繰入金収入	1822万円
合 計	9426万円



支出の部

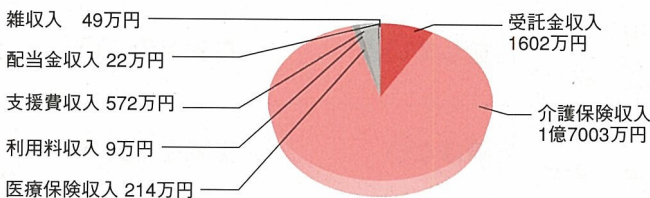
人件費支出	6387万円
事務費支出	391万円
事業費支出	1938万円
助成金支出	256万円
補助金返還金支出	454万円
合 計	9426万円



介護サービス事業特別会計

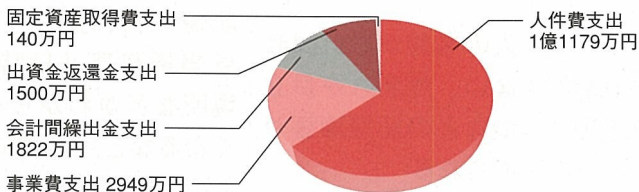
収入の部

受託金収入	1602万円
介護保険収入	1億7003万円
医療保険収入	214万円
利用料収入	9万円
支援費収入	572万円
配当金収入	22万円
雑収入	49万円
合 計	1億9471万円



支出の部

人件費支出	1億1179万円
事業費支出	2949万円
会計間繰出金支出	1822万円
出資金返還金支出	1500万円
固定資産取得費支出	140万円
合 計	1億7590万円



あ と が き

今回の表紙は、「百日紅(さるすべり)」の花です。この花は、夏から秋にかけて多くの場所でみられる、白や赤色のきれいな花です。皆さんの周りに季節を感じられる花はありますか？ご近所の方との会話にしてみるのも楽しいと思います。(ミツ)

広告募集中!!

広告を掲載を希望される企業・団体を募集しています。

掲載料：1枠1回
5,000円より

まずは、大淀町社協総務福祉課(下☎52-1941)までお電話ください。



各種登記のごとなら(無料相談)

なかで

中出司法書士事務所

大淀町土田二八四一九
JA西部前

☎〇七四七(五二)六五七七